

建築事業



事業概要

建築事業では、地震をはじめとする防災関連技術や環境負荷を低減する省エネルギー技術などの採用を推進するほか、既存建物の有効活用にも積極的に取り組み、地球環境にやさしく、安全で快適な空間を提供していきます。

これからも、事務所・庁舎、商業施設、教育・研究・文化施設、倉庫・流通施設、生産施設、医療・福祉施設、住宅などのさまざまな建物に求められるニーズを的確に把握した上で、建物の企画から設計、施工、アフターケアまでの全ステージにおいてのサービスを提供し、安心で豊かな社会の構築を目指します。

2019年度の主な完成工事(建築)



事務所・庁舎:ダイキョーニシカワ株式会社 本社(広島県広島市)



倉庫・流通施設:GLP 八千代Ⅱ(千葉県八千代市)



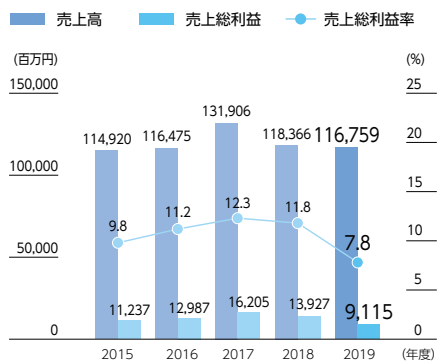
工場:東洋新築 インテリジェンスパーク第一工場(佐賀県鳥栖市)



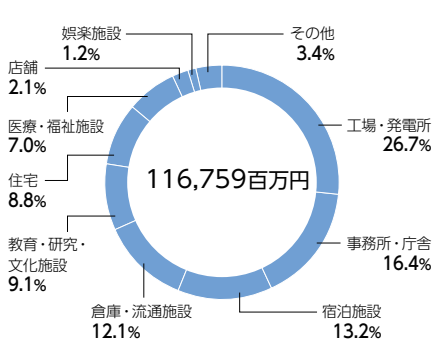
教育・研究・文化施設:和木町立和木認定こども園(山口県玖珂郡和木町)

建築事業の業績(個別)

売上高・売上総利益(率)



売上工種別内訳(2019年度)



建築本部長メッセージ

「中期経営計画(2019~2021年度)」初年度の2019年度は、売上総利益が近年の水準を下回り、厳しい結果となりました。このような結果を踏まえ、2020年度は新型コロナウイルス感染症による影響が不透明な状況ではありますが、業務プロセスの改善を目指して実施した組織変更が成果につながるよう、大型の官庁および民間工事を中心とした繰越工事に加えて、今後の受注工事に全力で取り組み、業績の向上を図ります。

お客さまのご要望を適切に実現し、ご満足いただける建物をお渡しすることを第一に、建築部門全体で設計、施工および技術開発を推進するとともに、環境への配慮や社会への貢献を目指して、ESG/SDGsへの取り組みを展開していきます。



建築本部長 宮崎 宏

建築事業の主な取り組み

建築事業では、「中期経営計画(2019~2021年度)」に基づき、以下の取り組みを強化していきます。

企業価値の向上	人的資源の活用
<ul style="list-style-type: none"> 多様な実績のさらなる蓄積 技術提案力のさらなる向上や多様な入札契約方式への対応 改修工事に関わる体制の改善 	<ul style="list-style-type: none"> 多様な実績のさらなる蓄積 利益向上への継続的な取り組み 技術開発の強化および実物件への適用推進 設計施工一貫工事の推進 SDGsの目標達成に向けた施策の実行
<ul style="list-style-type: none"> 工事所支援システムによる業務の効率化 業務内容の見直しとICTやBIMの活用による生産性向上 	<ul style="list-style-type: none"> テレワークの導入による事業継続性の確保

TOPIC

大きな揺れから小さな揺れまでオールラウンドに対応できる免震システム

免震構造は微振動(人が感じない非常に小さな揺れ)の影響を受け易く、精密機械や電子顕微鏡などを用いる生産・研究施設に採用する場合は微振動への対策が必要になります。そこで、従来の免震装置に振動エネルギーを吸収する「微振動対策ダンパー」を併用し、大地震時の安全性と平常時の微振動抑制機能を併せ持った高性能な免震システム「オールラウンド免震」を開発しました。2019年度には、日進工具株式会社 開発センター新築工事に採用されています。

今後は、SDGs9「産業と技術革新の基盤をつくろう」に寄与する技術として、精密機械が設置される生産施設や研究施設などに向け、積極的に展開していく予定です。

工事名:日進工具株式会社 開発センター新築工事
施工場所:宮城県黒部郡大和町



建物外観



微振動対策ダンパー